8　芸術（書道）

学校番号	１００９

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	書Ⅱ　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書Ⅰで身につけた表現方法を生かし篆書や隷書など新たに違う表現方法を学び、書の表現の幅を広げてみましょう。
・辞書を引き、自分自身で創作するということを経験し、自分らしい作品を書くことができるようになることを目指しましょう。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
10	漢字の書	・篆書の古典に学ぼう 書体の変遷 篆書の基本用筆 甲骨文 召尊 泰山刻石 石鼓文	○	○		○	a:篆書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な篆書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11	漢字の書	・隷書の古典に学ぼう 隷書の基本用筆 曽全碑 乙瑛碑 石文頌 居延漢簡	○	○		○	a:隷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:隷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な隷書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11	漢字の書	・草書の古典に学ぼう 十七帖 書譜 自叙帖 風信帖	○		○	○	a:草書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:草書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:順筆、筆の動かし方を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な草書の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
12	漢字の書	・創作 篆書・隷書・草書の三書体から書体を選択する。 字句選文 草稿 半切に創作 鑑賞		○		○	a:三書体（篆書・隷書・草書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技法を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

1	仮名の書	・仮名の古典に学ぶ 高野切第一種 寸松庵色紙 色紙による作品制作 鑑賞	○	○		○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:それぞれの古筆のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身につけ表している。。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
2	漢字仮名交じりの書	・古典の書風を生かした創作	○	○	○		a:古典の書風を生かして作品を創作することに関心をもっている。 b:作品のテーマと書風の関連性を意識し、表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え、創作の構想に生かしている。 c:書風の分析が的確で、表現技法への転換が適切に行われている。 d:表現の工夫によって多彩な書の表現が生まれることを理解し、古典の書風と表現例を関連づけて分析している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
2 3	篆刻	・印の多彩な表現を知る ・姓名印を刻す（朱文印） ・鑑賞	○	○			a:篆刻に関心をもち、篆刻制作に主体的に取り組んでいる。 b:書体や書風、配字による表現の効果を理解し意図に応じて構想を練っている。 c:篆刻制作の手順を理解し、検字や布字、運刀に関する知識や技法を習得している。 d:互いに作品を鑑賞し合い、構成や技能のよい点を認め合っている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。